

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第59号

令和7年(2025年)
10月1日 発行



女人高野と称される天野山金剛寺（河内長野市）

今年で五十三歳の私。先日、三十年ぶりに友人と再会し、楽しい時間を過ごしました。皆、それなりに歳を重ねた風貌になっていたものの、三十年前と変わらず、たわいもない話で笑い合いました。ただ、その内容には少し変化が感じられました。

若い頃は、新しい発見や体験を自慢げに語り合っていたのが、今では過去の出来事や思い出を語るが多くなっています。

当時は何事にも挑戦でき、自分にはまだまだ可能性があると信じていました。しかし歳を重ねるにつれ、「もう若い者にはかなわないな」と感じる場面も増えてきました。年齢を理由に若者と比較をする私。「まだ、負けない」と強がる思いもあります。

友人の一人は酪農に携わり、もう一人は介護で責任ある仕事をしていると話してくれました。それぞれが自分の現場で懸命に歩んでいる話を聞き、今の私も過去を引きずるのではなく、「これでいいのだ」と受け入れることができたように思います。（寿栄松正顕）

と う ひ が ん 到 彼 岸

見えてきた世界

高照寺 すみや としき 隅谷俊紀

過ぎた頃から足裏に違和感を覚え
ました。靴ずれです。原因は分かりませんが、
戸惑うばかりでした。

そこからは痛みとの戦い。日没頃に
何とか四十五キロのチェックポイント
にたどり着き、炊き出しの「卵かけご飯」
をいただいて元氣回復といきたいとこ
ろでしたが、現実には甘くありません。
以降、一步一步が苦行のようでした。

足裏をかばうような歩行をしていた
のでしよう。七十キロ辺りからは腰の
痛みも加わり、両手で腰を押さえない
と歩けない状態。

そして七十八キロのチェックポイン
トでリタイアを宣言しました。時刻は
午前三時半頃。

歩き続けた疲労感、痛みからの解放
感、もう終わったという安堵感でその
後のことはあまり覚えていません。し
かし、リタイア後、ゴール地点まで送
つてくださるワンボックスカーに案内

されました。

私の座席の横には車イスが。おそら
く福祉施設の送迎車なのでしょう。と
いうことは、その施設の協力があつて、
そしてその車を真夜中に運転してくだ
さる職員がいらっしゃって、はじめて
私はゴール地点にたどりつけるのでし
た。多くの方々の協力があつて、私自
身が歩くことができていたのだと知ら
された瞬間でもありました。

大切な事実

「完歩できた」と「リタイアした」では、
完歩のほうがいいです。自分も満足で
すし、他人にも声高に話せます。

しかし今回、リタイアしたからこそ
見えてきた世界があり、残念な出来事
の中にも大切な事実があることをあら
ためて教えられました。

七十八キロで……

結果はというと……。残念ながら七
十八キロ地点でリタイアとなりました。
午前十時にスタートし、二十キロを

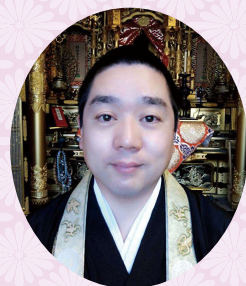
如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

お寺と仏教

滋賀北教区

和光寺

菅原良暢師すがはうりやうちよう



になつてしまします。

そのように自分の思いによつて苦悩する私を仏さまは悲しまれ、「そのままのあなたでいいんだよ」と念仏の声となつてよびかけ続け、私によるこびを届けてくださっているのです。

そのことを繰り返し聞かせていただくことが大切なのだとお話しくださいました。

今回のお話を通して、お寺を預かる立場に限らず、人はそれぞれ自分の置かれた身の上で同じように苦悩していることを教えていただきました。

だからこそ、御同朋、御同行と、みんなが平等に聞かせていただける念仏のみ教えに出遇わせていただいていることの有り難さを強く感じさせていただいたことでした。

令和七年六月十三日、大阪別院でさつき会の坊守研修会が開催され、「お寺と仏教」と題して菅原良暢師がお話しくださいました。

「ねばならぬ」の苦悩

お寺とは何か。それは、私

が仏法を聞く場所であり、私が仏法に出遇うためにあります。しかしお寺をお預かりする立場の寺族にとって、それは同時に悩みの種にもなっています。

お寺の修繕や後継者の問題

など、お寺を護持していく上

で、次々に湧き上がる私の思

い通りに現実が進みません。

「こうしなければならぬ」、

「こうあらねばならぬ」とい

う自分が作り上げる思いとあ

りのままの事実のギャップに

私は苦悩するのです。

仏教は、そのような私の苦

悩の原因を明らかにしてくだ

さいます。

氷と水

親鸞聖人は、私のかたくな

な煩惱を「氷」に、仏さまの

柔らかな心を「水」にたとえ

られます。

自動製氷機からガラガラと

氷が落ちるように、私は自分

中心の思いから煩惱の氷を生

み出し、そこに苦悩します。

仏教は、その固い思いに縛ら

れた私の煩惱の氷を溶かして

水にしてくださいさるはたらき

があります。

しかし一度は溶けた水も、

冷やされれば氷に戻ってしま

うように、仏さまからいただ

いた柔らかな心も、縁に触れ

ればすぐに自分中心の固い心

(門川 崇志 記)

関西将棋会館



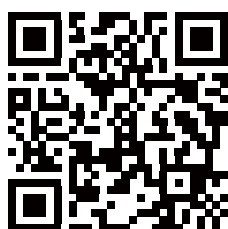
関西将棋会館



駅前の巨大なポスター



駒形のポスト



(葦名彰)

詳細はQRコード
からご覧ください。

を応援しています。

関西将棋会館はもとも大阪市福島区にありましたが、建物の老朽化により移転の計画が持ち上がりました。ちょうどJR高槻駅前の再開発と時期が重なったこともあり、高槻市が駅前の土地に誘致し、昨年12月にJR高槻駅西口前に関西将棋会館がオープンしました。

会館は地上5階建てで1階は将棋道場と売店、2階と3階は多目的ルームとイス席の対局室、事務室、会議室、棋士室、4階・5階は対局室です。一般の方が自由に入ることができるのは1階の売店のみ。売店以外は会員登録が必要です。1階は日本将棋連盟オフィシャルショップで、棋士の揮毫入り扇子や将棋に関わるグッズが販売されています。その奥は道場となっていて会員限

定ですが対局ができます。会館内にはこれから将棋を始めたいという方へ駒の並べ方・動かし方、詰将棋や対局マナーなどの教室があります。また関西本部所属の棋士の指導を受けることもできるそうです。

将棋の街「高槻」

バスや駅のホームには藤井聡太竜王名人をはじめ日本将棋連盟所属の棋士たちの大きなポスターが貼ってあり、商店街には藤井棋士が対局中に食べたケーキやプリン、定食などの広告があふれています。駅前のバスのロータリーにある郵便ポストは将棋の駒の形になりました。高槻城跡より江戸時代の将棋の駒が発掘されたこともあり、今、高槻市はまちぐるみで将棋文化

ごえんさんを訪ねて

せいげんじ
誓源寺

いわさわ じゅんいち
岩澤 潤一 住職

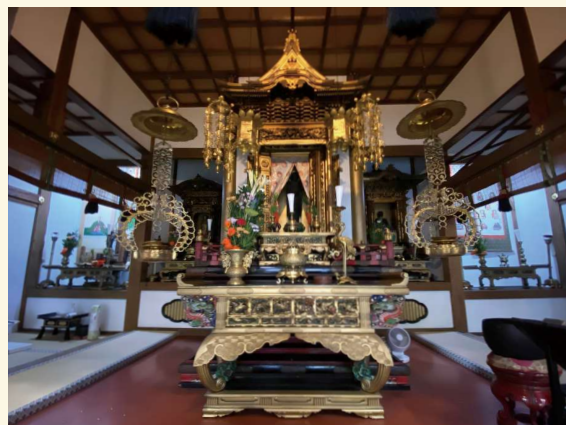


誓源寺はもとも大阪市平野区にあり廃寺となりました。その後、縁あって現住所に移転、今から90年前の昭和10年に落慶法要を勤めた歴史があります。

住職は先代住職の娘さんと結婚をしましたが、入寺するつもりはありませんでした。しかし先代も住職も共に甲子園を目指した高校球児というつながりがあり、気にかけてとても可愛がってくれたそうです。

しかし先代の病氣や急死を受けて状況が一変。当時、勤めていた仕事を退職し、得度や住職になるための研修を受けました。

入寺したものの先代から寺院のこととを何も聞いておらず困惑する日々でしたが、先代が残っていた月参りの帳面を頼りにご門徒のお宅へ伺っていました。また衣の着方や法事の勤め方などは近隣の先輩住職に助けをいただきながら平成16年に継職し



誓源寺本堂内陣

ました。

本堂改修工事

本堂内の雨漏りがひどくなり、平成27年に本堂屋根の改修工事と同時に耐震工事をするようになりました。

ご門徒からの多大なご寄進、ご協力のお陰で無事にきれいな屋根と耐震工事を施した本堂が完成しました。工事に際して、ご門徒が物心両面から支えてくださり本当に有り難かったですと話されました。

背中を押してくれた人

入寺するべきか悩んでいた当時、母親の「あんたにそうやって入寺してほしいと声をかけていただいているということは、本当に有り難いことやで。このご縁を大事にしない」といって背中を押してくれた言葉を継職して20年が経った今でも折に触れ思い出します。

そして「何も分からないまま誓源寺住職となった私を育ててくださったご門徒にこの感謝をどのようにお返ししていけるのか日々、模索していきたい」とお話しくださいました。

(玉出宗順)

■誓源寺(せいげんじ)

〒590-0008

堺市堺区南庄町1-1-3

電話 072-233-7455

Fax 072-233-7455

大悲トピックス

■本山夏安居

8月21日～28日、本山で令和7年夏安居が行われました。全国から32名が懸席し、大阪教区からは、松野正遥さん、道野真諒さん、長田行太さん、寺田真実さん、善本理恵さんの5名が懸席されました。

善本さんからは「今回初めて夏安居に参加させていただきました。声明の練習の際、講師の方、安居生問わず皆さんが教えてくださり有り難かったです。そのおかげで、たくさんの方々と知り合うことができました」との感想を寄せていただきました。（長田 譲）



Ⓐ 夏安居で講義を受ける懸席者

■法友会研修会

7月28日、「伽陀と作法」を講題として報恩寺住職・本山式務局長の寺田宗隆師に講義を賜りました。まず声明作法の心得を説いてくださり、伽陀発声の実技では、受講者一人ひとりに音程の取り方など丁寧に指導していただきました。（葦名 彰）

■佛青懇和会研修会

7月23日、大阪別院にて「末寺で会行事を立てるような法要をする際の注意点」について光台寺住職の木村光見師より講義を賜りました。法要を勤める会所・末寺の注意点や法要儀式の執行責任者である会行事の心構え、会所寺院との意思疎通の重要性などをお話しいただきました。（玉出 宗順）

■懇志御礼

奈良教区御一同様

■お悔やみ

謹んで哀悼の意を表します。

第三組・光明寺

勝部 崇様（6月7日寂）

真宗佛光寺派
如来寺

気がつけばいつも

お蔭さまのなか

芦屋市川西町8-6

住職 藤谷 信道

御本山  用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055

(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

創業100余年・お墓の専門店

石留石材 株式会社

土日祝もご相談いただけます（8時～17時）

 **0120-53-5578**

■本社：大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 **モントラベル**

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

お墓なんでも相談センター

とわ おも かたち かえ
永遠の想いを像に還るお手伝い



ヨシザワ

株式会社 吉澤石材工業所

フリーダイヤル **0120-49-1482**

浜屋は関西最大級のお仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お問い合わせ
お申し込み

通話料無料/浜屋郵路本社フリーダイヤル
0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分

だいひ 絵日記

7月11日（金）**大悲の会**編集会議（第59号読み合わせ）（オンライン会議）

7月23日（水）**佛青懇和会**研修会

（末寺で会行事を立てるような法要をする際の注意点、講師：木村 光見 師）①

7月28日（月）**法友会**研修会（伽陀と作法、講師：寺田 宗隆 師）②

8月 7日（木）**大悲の会**編集会議（第59号読み合わせ）（オンライン会議）

8月13日（水）**大阪別院**盂蘭盆会（～15日）

8月22日（金）**大悲の会**編集会議（第59号読み合わせ）（オンライン会議）

9月 9日（火）**法友会**研修会（お寺の可能性、講師：英月 師）

9月12日（金）**さつき会**研修会（念珠を作しましょう、講師：中井 賢隆 師）

9月20日（土）**大阪別院**彼岸会（法話：長田 譲 師）

9月23日（火）**大阪別院**彼岸会（法話：門川 崇志 師）

9月25日（木）**大悲の会**編集会議（第59号発送作業・第60号内容検討）

9月26日（金）**大阪別院**彼岸会（法話：中井 翔隆 師）

（法友会＝住職会、さつき会＝坊守会、佛青懇和会＝青年会）



協 賛

佛青懇和会

大阪教区の青年会

（会長：松野正暁）

協 賛

さつき会

大阪教区の坊守会

（会長：中井秀子）

協 賛

法友会

大阪教区の住職会

（会長：善本和彦）

創業安政3年
京 佛 具 調 進
森田屋

福野御佛具處

〒601-8424

京都市南区西九条猪熊通九条上る

tel. fax 075-691-8423

表具 **八木米寿堂**

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽（尺八・箏）出張演奏いたします。

曲目はリクエストできます。

事務局：阪南市新町 宝林寺

電話 072-472-1414

<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

法要のご案内

大阪別院報恩講

10月27日(月)午後2時

勤行(お勤め)

御親教(ご門主おことば)

複演(法話)

山崎 哲 師

(東京・西徳寺)

宗務総長あいさつ

大阪別院輪番あいさつ

お寺の掲示板

親の心子知らず

そう思う親も

昔は子ども

編集秘話

先日、義兄が本山佛光寺のお茶所で法話されるということで、ご聴聞させていただきました。私たちの命は、草を育てる大地があり、その草を食した生き物の命を奪うことで成り立っています。すべての「いのち」はどこかで繋がっていることを忘れてはいけないとお話してくださいました。(中井)

編集後記

「到彼岸」に書きました 100km 歩行の話です。実はこの大会に参加する 1 年半前に別の大会に挑戦しました。その際は完歩できたのですが、今回と同じく、靴ずれと腰の痛みとの戦いでした。大会後「もう二度と参加しない」と思っていたのですが、時が経てば……。三度目？「いや、もう参加しません……」。(編集長・隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第 59 号 (秋号)
令和 7 年(2025 年)10 月 1 日発行 (発行部数 2200 部)

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田 6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

ホームページ(HP) <http://daihi.org/> (ご意見・ご感想は HP 内の「お問い合わせフォーム」より)

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷 俊紀(副会長)

寿栄松 正顕(会計)

玉出 宗順(会計)

門川 崇志(監事)

佐々木 太一

葦名 彰

中井 翔隆